

平成 2 3 年定期総会資料

(第 1 4 回定期総会)

平成 2 3 年 6 月 2 0 日

建設関連産業廃棄物再資源化連絡協議会

第 1 4 回 定 期 総 会 次 第

開 会

副会長挨拶

議 事

第 1 号議案 平成 2 2 年度事業報告及び決算書の承認について ——1~ 7

第 2 号議案 平成 2 3 年度事業計画及び収支予算の決定について —8~ 9

第 3 号議案 辞任に伴う役員（理事）の選任について —————10

閉 会

添付資料

建設関連産業廃棄物再資源化連絡協議会会則

第1号議案 平成22年度事業報告及び決算書の承認について

平成22年度事業報告及び決算書について承認を求める。

平成23年6月20日

建設関連産業廃棄物再資源化連絡協議会
会 長 安 達 繁 樹

I 平成22年度事業報告

1 概要

建設関連事業から発生する廃棄物（副産物）の再資源化を目指し、6団体4企業により平成10年8月5日に設立した異業種連絡協議会は、平成10年度8企業、平成11年度1団体9企業、平成12年度7企業（正会員5、賛助会員2）、平成13年度1企業（正会員）、平成14年度1企業（正会員）、平成15年度2企業（正会員）、平成18年度2企業（正会員）、平成19年度2企業（正会員）、平成21年度1企業（正会員）が加盟、平成12年度3企業、平成13年度3企業、平成14年度1団体・4企業（正会員4、賛助会員1）、平成15年度3企業（正会員）、平成16年度1団体・5企業（正会員）、平成17年度1団体、平成19年度1企業（正会員）、平成20年度1企業（正会員）の退会があり、平成23年6月現在で4団体16企業（正会員19、賛助会員1）の構成となった。

協議会の活動に際し、各部会の積極的な展開により、事業計画の遂行に大きな成果を得た。理事会2回、運営委員会3回、企画情報部会1回、製造技術部会1回、運営委員長・部会長会議1回が開催され、延べ53名の理事・委員が参加した。

「社会貢献事業・広報事業」として17年度から始めた施策講習会は、20年度時点で19回の開催となった。21年度に名称を施策&ビジネス講習会と改め、21年度と同様、4回開催した。招聘先として、中国地方整備局企画部技術管理課、環境省中国四国地方環境事務所、（財）省エネルギーセンター中国支部、中電技術コンサルタント（株）から11名の講師及び今岡広島工業大学大学院教授による貴重な講演と八千代エンジニアリング（株）広島支店宮田業務企画部長及び米倉広島大学名誉教授にコメンテータとして参画頂き、トークライブ質疑を行った。参加者は111名、内会員外の参加は19名であった。

”省エネ／コストダウン／低炭素”を講習会テーマとした成果は、4工場（アスコン工場2、生コン工場1、砕石工場1）が無料省エネ診断を受け、講習会にてその結果と助言を公開討論した。

一般PRとして、「建設技術フォーラム2010in広島」（平成22年11月5日開催）に製砂泥土を用いた製品サンプル、再生骨材高度化処理システムによる製品サンプル及び関連パネルを展示出展した。2名のゼロ協委員が会場説明員として参加した。

建産廃ゼロ協のホームページを平成22年11月に再度立ち上げ、3.11東日本大震災へのお見舞い「頑張れ東北！頑張ろう日本！」を掲載した。

URL <http://zerokyo.web.fc2.com/>

会員の親睦と講習会後の交流を目的に交流会を開催し、会員17名及び会員外7名が参加した。

2 活動経緯

6/21	第1回施策&ビジネス講習会	<p>講師 安達久仁彦(中国地方整備局企画部技術管理部 課長) 今岡 務(広島工業大学大学院環境学研究科 教授・工学博士) 柄本廣宣(環境省中国四国事務所広島事務所 廃棄物対策官)</p> <p>演題 「最新情報 2010年の建設業」 「廃石膏ボード粉砕処理物のフィラー材としての再資源化に関する実証研究」 「廃石膏ボードの処理・リサイクル最前線」</p> <p>コーディネータ 中河原達真(建産廃ゼロ協企画情報部会 部会長)</p> <p>参加人数 34名 会場 オリエンタルホテル広島</p>
6/21	交流会	<p>参加人数 24名 会場 オリエンタルホテル広島</p>
10/13	第2回施策&ビジネス講習会	<p>講師 大庭 泉(財)省エネルギーセンター中国支部 事務局長</p> <p>演題 「“省エネでコストダウンと低炭素社会を” 受けて見ませんか貴工場の無料省エネ診断」</p> <p>コメンテータ 米倉亜州夫(株)米倉社会インフラ技術研究所 代表取締役、 広島大学名誉教授)</p> <p>宮田雅紀(八千代エンジニアリング(株) 営業推進部長)</p> <p>コーディネータ 中河原達真(建産廃ゼロ協企画情報部会 部会長)</p> <p>参加人数 25名 会場 オリエンタルホテル広島</p>
10/13	運営委員会	<p>参加人数 11名 会場 オリエンタルホテル広島</p> <p>議題</p> <p>1. 事務局報告(別紙参照) 2. 各部会報告 ① 企画情報部会報告(別紙参照) ② 製造技術部会 ③ 利用技術部会報告(別紙参照)</p>
11/ 5	建設技術フォーラム 2010 in広島 出展	<p>主催 建設技術フォーラム実行委員会</p> <p>会場 広島市西区民文化センターホール</p> <p>説明員 2名</p> <p>出展内容 ゼロ協ハネル 製砂泥土を用いた製品サンプル、ハネル 再生骨材高度化処理システムによる製品サンプル、ハネル</p>
1/25	理事 運営委員会 合同 会 合 同	<p>会場 オリエンタルホテル広島</p> <p>出席者 安達繁樹会長、松葉副会長、川井理事、西本理事、中河原理事、吉川理事、 西田委員、天野委員、奥村委員、北村委員、古井事務局長</p> <p>議題</p> <p>1. 平成22年度事業経過報告 ① 施策&ビジネス講習会(別紙資料参照) ② 建設技術フォーラム2010出展(別紙資料参照)</p> <p>2. 平成22年度中間収支報告(別紙資料参照)、事業参加人数(別紙資料参照)</p>

1/25	第3回施策& ビジネス講習 会	<p>講師 佐藤恵一、村田宣夫、宇佐誠一郎、泉松浦市郎、下江智忠 (財)省エネルギーセンター中国支部 エネルギー使用合理化専門員) 猫沖裕三(財)省エネルギーセンター中国支部 技術専門職)</p> <p>演題 「"省エネでコストダウンと低炭素社会を" 4工場への省エネ診断結果と助言」</p> <p>コメンテータ 宮田雅紀(八千代エンジニアリング(株)広島支店 業務企画部長)</p> <p>コーディネータ 中河原達真(建産廃ゼロ協企画情報部会 部会長)</p> <p>参加人数 32名</p> <p>会場 オリエンタルホテル広島</p>
3/22	第4回施策& ビジネス講習 会	<p>講師 乗越 晃(省中電技術コンサルタント(株)臨海・都市部 循環システムグループグループリーダー)</p> <p>片岡和則(環境省中国四国地方環境事務所環境対策課 課長補佐)</p> <p>演題 「"省エネ・コストダウン・CO2取引" 2省の政策」</p> <p>コーディネータ 中河原達真(建産廃ゼロ協企画情報部会 部会長)</p> <p>参加人数 20名</p> <p>会場 オリエンタルホテル広島</p>
3/22	運 営 委 員 会	<p>参加人数 11名</p> <p>会場 オリエンタルホテル広島</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局報告(別紙資料参照) 2. 平成22年度事業概要(別紙資料参照) 3. 平成23年度事業計画 各部会

Ⅱ 決算書

自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 収入の部 ((B)-(A)) 支出の部 ((A)-(B))
(収入の部)			
I 平成21年度剰余金	74,696	74,696	0
II 会 費			
1. 団 体 費	90,000	90,000	0
2. 企 業 費	160,000	170,000	10,000
III 特別負担金			
1. 団 体 費	270,000	270,000	0
2. 企 業 費	420,000	450,000	30,000
IV 雑 収 入			
1. 講習・交流会		128,000	128,000
2. 預金利息		66	66
合 計	1,014,696	1,182,762	168,066
(支出の部)			
I 事 業 費			
1. 利用技術部会	30,000	11,550	18,450
2. 製造技術部会	0	0	0
3. 企画情報部会	620,000	620,000	0
II 一 般 経 費			
1. 事務経費	60,000	60,000	0
2. 会議費	180,000	311,703	▲131,703
3. 交通費	110,000	98,000	12,000
4. 雑 費	14,696	5,775	8,921
合 計	1,014,696	1,107,028	▲92,332
当期剰余金	0	75,734	75,734

監査報告書

建設関連産業廃棄物再資源化連絡協議会の平成22年度事業報告書及び決算書について監査したところ、その内容は適正なものと認めます。

平成23年6月20日

監事 合田尚義 印

第2号議案 平成23年度事業計画及び収支予算の決定について

平成23年度事業計画及び収支予算について議決を求める。

平成23年6月20日

建設関連産業廃棄物再資源化連絡協議会
会 長 安 達 繁 樹

I 平成23年度事業計画（案）

1 事業計画

（1）利用技術部会

①建設技術フォーラム出展（3万円）

（2）製造技術部会

（3）企画情報部会

①運営WG リーダー：中河原達真（（株）リ・ユーステクノ研究所）

・マスコミ協賛広告、部会費用（10万円）

・施策講習会&ビジネス講習会 4回（52万円）

Ⅱ 平成23年度収支予算（案）

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

（単位：円）

科 目	予 算 額	備 考
（収入の部）		
I 平成22年度剰余金	75,734	
II 年会費		
1. 団体	90,000	¥30,000×3
2. 企業	170,000	¥10,000×15+¥20,000×1
III 特別会費		
1. 団体	270,000	¥90,000×3
2. 企業	450,000	¥30,000×15
合 計	1,055,734	
（支出の部）		
I 事業費	(650,000)	
1. 利用技術部会	30,000	
2. 製造技術部会	0	平成23年度事業計画(案)参照
3. 企画情報部会	620,000	
II 一般経費	(405,734)	
1. 事務経費	60,000	消耗品、通信、印刷費等
2. 会議費	200,000	総会1・理事会2・運営委員会3・講習会4
3. 交通費	110,000	¥2,000×55
4. 雑費	35,734	
合 計	1,055,734	

第3号議案 辞任に伴う役員（理事）の選任について

下記のとおり辞任の届出があったので、後任の理事の選任を求める。

平成23年6月20日

建設関連産業廃棄物再資源化連絡協議会
会 長 安 達 繁 樹

辞任届出役員

役員名	氏名	所属	所属会員名及び職名	届出日
理事	安達繁樹	前田道路（株）中国支店 支店長	広島県アスファルト合材 協会 副会長	平成23年 3月31日

役員推薦候補者

役員名	氏名	所属	所属会員名及び職名
理事	井口久美	日本道路（株）中国支店 執行役員支店長	広島県アスファルト合材協会 理事